

# 麻布大学のサクラサイエンスプランに参加した国立台湾大学獣医学 部大学院生のレポート

学生氏名：劉 品辰（大学院博士課程三年）

昨年、麻布大学で行われたサクラサイエンスプラン（SSP）に参加しました。その時の経験を報告します。

麻布大学で行われたサクラサイエンスプランは10日間の実習中心のコースで、いろいろな国から学生が参加しました。参加者は、それぞれの国の文化で育ち教育を受けていることから、言語はもちろん、学力や専門がそれぞれ異なっていました。コースの全課程はすべて英語で行われました。

実験や実習後には、必ずその日に習ったことを皆で討議しました。異国の友人との討議では、これまで自分が持っていた見方や思考とは異なる新しい考え方を学ぶことができました。例えば、外部寄生虫の観察と同定の授業では、まず異国学生と組み合わせになるようグループに分けられました。それぞれに外部寄生虫の標本と一枚の大きいポスター紙が渡され、その外部寄生虫についての諸知識を学生一人一人が複数の小さい紙片に自由に記述してポスター紙に自由に貼りつけました。そして最後に紙片の位置を動かしてストーリーを作成し、それを発表しました。各グループの発表を聴くことで、同じ外部寄生虫であっても国によって診断法、治療法、予防法または対策が違うことを学びました。

参加者の中には、すでに臨床獣医師として働いている者や、微生物の基礎研究に携わっている者もいました。皆が違う意見や見方を提示したので大変勉強になり、討論はかなり盛り上がりました。この様な授業を通して、諸伝染病について国ごとの異なる知識や考え方を学べ、また貴重な討論をする機会を得ることができました。

学生氏名： 関 篠芙（大学院修士課程二年）

私も麻布大学で行われたサクラサイエンスプラン（SSP）に参加し、その時の経験として次の項目を主に実習形式で学びました。

- 食品由来寄生虫病を引き起こす旋毛虫の実験動物への感染実験、消化法による幼虫の検出・同定
- 旋毛虫感染筋肉の標本作製
- 線虫類や細菌の成分で刺激した培養マクロファージからの分泌サイトカインの Sandwich ELISA（サイトカインアレイ）で検出
- 鶏卵線維芽細胞の培養、ウイルス接種、CPE 観察、蛍光標識モノクローナル抗体およびポリクローナル抗体による感染細胞の重複染色
- 人獣共通細菌病の講義
- Multiplex PCR によるカンピロバクター属菌の同定、PCR によるタイピング
- サルモネラ属菌の PCR タイピングおよび LAMP 法による検出
- 相模原市博物館、目黒寄生虫館の見学
- 付属動物病院の見学、産業動物診療センターおよび乳牛試験場の見学

各国の参加者と諸伝染病について情報交換することができました。コースの内容は非常に豊富でした。今回のコースに参加の機会をいただいた台湾大学と麻布大学に感謝します。また、私の大学の先輩や後輩院生に、このような素晴らしい機会があればそれを逃さないようにアドバイスします。